

須坂市教育委員会 11 月定例会 会議録

1 日 時 令和元年 11 月 20 日（水）午後 2 時 ～ 4 時

2 場 所 市役所防災活動室 1

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	神戸 要子
教育委員	土屋 保男
教育委員	二ノ宮邦彦
教育委員	水上 智恵

4 説明のため出席した職員

教育次長	関 政雄
学校教育課長	滝澤 学
子ども課長	新井 修一
人権同和教育課長	牧 宏
学校給食センター所長	北堀 智
生涯学習スポーツ課長	田中 賢一
中央公民館長	山岸 一延
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	竹前 金三
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅

5 事務局出席職員

庶務係長	中村 健司
庶務係主査	森井 徳一

6 本日の会議に付した事項

（１）学校等の状況報告について

（２）議 題

議案第 29 号 須坂市公民館条例の一部改正について

議案第 30 号 須坂市公民館規則の一部改正について

議案第 31 号 須坂市生涯学習センター条例の制定について

議案第 32 号 須坂市生涯学習センター規則の制定について

議案第 33 号 須坂市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について

議案第 34 号 市立須坂図書館規則の一部改正について

議案第 35 号 須坂市放課後児童クラブ運営規則の一部を改正する規則について

議案第 36 号 須坂市文化財指定の諮問について

(3) 協 議

①教育委員会の点検・評価について

②須坂市総合教育会議に向けて

(4) 一般行政報告

①教育長出席行事の報告について

②行事共催等承認の報告について

③専決処分した補正予算について

④12 月補正予算（案）について

(5) その他

①教育委員会行事予定について

②須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

③令和 2 年成人式について

④2019 年度青少年健全育成研修会について

⑤その他

小林教育長が開会を宣した。

1 学校などの状況報告について

教育長が説明を求めた。

後藤主任指導主事が説明した。

・不登校の原因の一つに学業不振があるが、この比率が高い。

・SSW は 42 人の児童、生徒に関わっている。

土屋委員：いじめの状況が平成 27 年と 28 年で違いすぎる。

事務局：平成 25 年から定義が変わったが、その解釈が当時浸透していなかった。

県によって報告数が違いすぎると言われ、5 年位してようやく定義が浸透してきた。

教育長：不登校について、教員が対応しきれないという事は無いかな。

事務局：そういうこともある。一クラスに3～4人となると担任では対応しきれない。学力保障のための取り組みに人が不足している。

神戸委員：不登校の数の数え方は？

事務局：休んだ日の合計が30日を超えると不登校になる。週1日でも30日を超える。

水上委員：学校にいけない子の居場所はあるか。

事務局：学校の教室に限らず、保健室や相談室でもいいという傾向になっている。

神戸委員：兄弟4人全員が不登校という家庭もあり、困っている。

事務局：引きこもり専門の相談員がいる。

2 議 題

議案第29号 須坂市公民館条例の一部改正について

議案第30号 須坂市公民館規則の一部改正について

議案第31号 須坂市生涯学習センター条例の制定について

議案第32号 須坂市生涯学習センター規則の制定について

教育長が一括して説明を求め、山岸中央公民館長が説明した。

教育長：審議会の初回は教育長が招集するのか？

公民館長：まだ審議会の会長がいない状態なので、1回目だけ教育長にお願いするものです。

他に質問は無く、原案とおりの承認された。

議案第33条 須坂市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について

教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明した。

特に質問は無く、原案とおりの承認された。

議案第34号 市立須坂図書館規則の一部改正について

教育長が説明を求め、田中生涯学習スポーツ課長が説明した。

特に質問は無く、原案とおりの承認された。

議案第35号 須坂市放課後児童クラブ運営規則の一部を改正する規則について

教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明した。

特に質問は無く、原案とおりの承認された。

議案第36号 須坂市文化財指定の諮問について

教育長が説明を求め、旧上高井郡役所の文化財指定の諮問について、田中生涯学習スポーツ課長が説明した。

特に質問は無く、原案とおり承認された。

3 協 議

(1) 教育委員会の点検・評価について

教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明をした。

二ノ宮委員：目標値に100%達成とあるが、100%は厳しいのではないか。

平和学習の負担軽減というのはどういうことか。

事務局：平和学習については一昨年まで市のバスを使って2泊3日の行程で行っていた。それを電車に変えて、1泊2日の行程に短縮したというもの。電車賃がかかるので参加者数は各校2名に減らしている。

(2) 須坂市総合教育会議に向けて

教育長が説明をし、教育委員に意見を求めた。

二ノ宮委員：いじめと不登校に絡めて、コミュニティスクール等で地域の人が参加している状況はどうなのか。

教育長：コミュニティスクールの資料を皆さんに配布する。

二ノ宮委員：不登校対応には予算を付けてもらう必要はある。

神戸代理：水害の時に相森中学校を避難所にして大丈夫なのか。八木沢川は大丈夫かと心配。

教育長：災害のことも大事。

土屋委員：避難訓練の時にペットと一緒に避難できると言いながら、犬、猫と一緒にいたいという気持ちがあっても、避難所では犬、猫は車の中。犬、猫用のテントがあればいいと思った。訓練では7～8年前から同行避難をしていたのに寂しい思いをした。熊本地震の時は民間でテントを作って避難させた。

水上委員：森上小のコミュニティスクールに登録しているが、コミュニティスクールにどこまでお願いしてもいいのか、先生も保護者も理解できていない。上田市ではクラブ活動をコミュニティスクールでやっていると聞いた。須坂市はまだまだという感じがする。

教育長：テーマとしては、少子化に対応していくために小中学校のあり方も考えなくてはいけないと思っている。子どもたちの学びをどう保証していったらいいか話し合いたい。テーマは1つか2つにしてやりたい。

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

- ・ 11月7日の特別支援保育講演会では、参加した園長から他の保育士にも聞かせたいという声があった。
- ・ 11月8日の文化財審議委員会では井上の小坂神社を見に行った。もうケヤキの枝を切らないと危ない状況にあった。
- ・ 11月14日須高3市町村研究協議会のテーマは各市町村から一つずつに絞った方がいいと感じた。多くの委員に意見を出してもらうために、どうしたらいいか考えたい。
- ・ 11月16日の部落差別の市民大集会は大切だと感じた。
- ・ 11月18日に高校の将来像を考える協議会で中野立志館と須坂創成高校を視察した。須坂の人は立志館をあまり知らないし、中野の人は創成高校を知らない。両校とも特色ある活動をしている。
- ・ 11月19日の部落解放同盟との懇談会で、まだネット等での差別や結婚差別があると言われた。

(2) 行事共催等の報告について

小林教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明した。

- ・ 後援事業が6件。

(3) 専決処分した補正予算について

- ・ 小林教育長が説明を求め、該当する課長等が説明した。

(4) 12月補正予算（案）について

- ・ 小林教育長が説明を求め、該当する課長等が説明した。

4 その他

(1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

- ・ 次回教育委員会は、12月26日午後2時から理事者控室で開催することに決定した。

(2) 主催共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、滝澤学校教育課長が説明した。

(3) 令和2年成人式について

小林教育長が説明を求め、山岸中央公民館長が説明した。

(4) 2019年度企業人権教育研修会について

小林教育長が説明を求め、牧人権同和教育課長が説明した。

(5) その他

特になし

小林教育長が閉会を宣した。